



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

年末お楽しみ会開催

12月29日に年末恒例のお楽しみ会を開催しました。

最初に、神戸定住外国人支援センターの学習支援に来ている子どもと一緒にクイズ大会をしました。クイズのタイトルは「世界の国を知ろう！！サンタク☆クイズ！！」。奨学生たちには司会をしてもらいました。たくさん子どもたちがいるなかで、うまく場を盛り上げてくれ、クイズが進むにつれて白熱した戦いとなりました。優勝グループを決める絵当てクイズでは、子どもたちのグループに混じってクイズに参加し、この日一番の盛り上がりとなりました。

盛り上がったクイズ大会が終わると、子どもたちと一緒にお菓子作りをしました。メニューは、クレープやベビーカステラ、おにぎり、で、奨学生も好きなものばかりだった様子。クレープ作りでは、生地の上にたくさんのフルーツや生クリームをのせ、事務局メンバーや子どもたちと楽しそうに会話しながら口いっぱい頬張っていました。ベビーカステラは、カステラが見えなくなるほどチョコや生クリームをたっぷりのせ、あっという間になくなってしまいました。おにぎり作りでは、子どもたちに教えながら、上手に三角形のおにぎりを作っていました。

久しぶりに奨学生が集まったこともあり、奨学生同士が笑顔で会話している姿がとても印象的でした。子どもたちにとっても、高校生のお兄さんお姉さんが参加してくれたことで、より一層楽しい会になったと思います。ご協力いただきました皆様、年末のお忙しい時期に、誠にありがとうございました。（奨学金ボランティア Y.A）

奨学生からのメッセージ

今回は、自分で決めたテーマについて、作文を書いてもらいました。

O さん (2 期生)

「高校三年間の振り返り」

私は公立高校の試験に失敗して私立の女子校に入ることになりました。最初はちょっと抵抗があったんですが今はとても良かったと思っています。中学校の頃、友人のぬくもりにめぐまれなかった私は、高校に入ってたくさんの友人と出逢いましたし、優しい先生にもたくさん出逢いました。高校でいい思い出もたくさんできました。

日本に来たとき日本語が全然わからなかったので、日本語教室で日本語を学びました。最初はとてもやさしかったのでとても楽しかったです。文法に触れてからとても難しくなっただけくそにもなりました。やっぱり日本ですごした日々を無駄にしたくなかったので頑張るしかないと思いました。毎日日本の単語を十個ずつを覚えていました。

これからも大学に入学してからも夢を忘れずに頑張りたいと思っています。

M さん (2 期生)

「ペルーのクリスマスとお正月」

私はペルーにいた時に、クリスマスとお正月は家族と一緒に過ごしていました。夜の 0 時になったら、みんなで「FELIZ NAVIDAD」を言って、子どもたちはプレゼントを開けて、道で花火をして、そして家で、七面鳥を食べたり、パネトンというケーキを食べたり、ホットチョコレートを飲んだりします。

お正月もクリスマスと少しにています。家族全員集まって過ごします。しかし、時々、大人の方はパーティーに行ったりします。お正月はペルーでは夏なので、キャンプに行く家族もいます。

ペルーのクリスマスとお正月は楽しいです。

A さん (2 期生)

「サッカーの魅力」

サッカーの魅力は何？と聞かれると、プレーしている時の選手がかっこいいとか、体が強そうに見えるなど、いろんなサッカーの見方をしたりしますが、僕が思う一番の魅力はどんな国で、どんな言語で話す人同士でも一緒に、みんな平等な世界に入って楽しめるということだと思います。

去年、イタリアに行った時に一番難しかったことは文化に慣れることでした。ただ言葉を知らなければ文化になかなかとけ込めないと思います。ただその第一歩となってくれた架け橋がサッカーでした。

僕が公園行ったら十人ぐらいでサッカーしている高校生がいました。なんとか自分の英語を活かして自分も入れてもらうことができました。みんなでサッカーをし始めると言葉の壁もなく、昔からずっと一緒にやってきた友達かのようにサッカーを楽しめました。僕はサッカーを通して友達ができ、その友達からイタリア語を学んでイタリアの文化の勉強をできたと思います。

これら全部はサッカーだけではなく、バレー、バスケ、テニスなどなど、いろんなスポーツをやっていくにつれて気づいていける「スポーツ」の魅力だと思います。

こういったスポーツで、私たちが住む世界が国際化してもっともっと協力しあってみんなで住みやすい世界を作れると思います。

Hさん (3期生)**「私の大切なもの」**

僕には好きな言葉がありますが、それは「前進」という言葉です。

日本に来てから頑張らなければならないことが増え、ストレスがたまって落ち込むことが多いです。学校生活の友達作り、大学へ向けての受験勉強で悩みもいっぱいあります。

ですが、僕はどんなに失敗して落ち込んでも、全部投げ出して諦めたりしません。諦めたら何もかも変りませんので、自分の可能性を信じてやり続ける事が大事だと思います。つらくて自分の将来への不安もありますが、未来を予測することができませんので、自分の夢に向かって今やるべきことをやってそれは自分の将来のどこかに繋がるんだと強く、信じて努力していきたいです。

今、高校2年生ですが、学校の先生が言うには、もう受験勉強に切り替えないと間に合わないのと、とても焦っています。志望校に合格ができるように頑張っていきたいと思えます。自分の頑張っている事が自分のためにはなりますが、自分が日本に来た外国人の子どもの誰かの見本となり、頑張ってもらえたらと思えます。

これからも止まることなく、前進していきたいと思えます。

Sさん (3期生)**「2学期の学校行事について」**

長い夏休み終わってからいよいよ真剣な学期を迎えられた。2年生の2学期はとても大事な折り返し地点です。ここでチャンスを逃して3年生になったら、いろいろ大変な事になるでしょう。

2学期の最初はまず体育祭がありました。今年の体育祭はとてもわくわくしました。なぜなら今年の主役はわれわれ2年生でした。その中に1、2年生の武道はとても印象的に残りました。武道は2年生で最後の武道です。だから私たちは精一杯で頑張りました。私は初めてクラスの先頭に立って、一番かっこよく演技しました。そして2年生全員リレーも感動でした。私はアンカーじゃなくてその前の人だった。とても大事な役でした。結果は私たち5組の優勝でした。圧倒的に勝ちました。体育祭の結果は優勝ではなかったですが、みんな心一つにして、クラスのために走ったり、お互いに応援したりとてもよかったですと思えます。

11月の最初、私たち37回生は校外学習がありました。行き先は京都でした。日本で一番厳しいお寺で修行します。まず天竜寺で1時間座禅をしました。和尚さんの話を聞きながら座禅をして、とても精神的に鍛えられました。それからお寺の周りを歩きました。おいしい物を食べたり、遊んだり、とても楽しかったです。

楽しい事が終わったら、テストに向かって勉強しかありません。結果は微妙だったけど、なんかまだいけそうな気がしています。テスト終わったら、球技大会でした。1学期と一緒にサッカーでした。寒い天気、みんないい汗をかきました。負けて、ものすごく悔しいけど楽しかったです。

2学期はもうすでに終わったけど、3学期はもっと頑張ります。

Tさん (3期生)**「学園祭」**

11月中旬に学園祭が開催されました。

私は今年看護コースだったため、看護コースの展示を作るメンバーに選ばれました。先生に任されたのは、夏休みの時に行ったジュニア・インターンシップの体験についてのまとめでした。まかせられたうれしさとジュニア・インターンシップに行くと良かったとい

う気持ちでいっぱいでした。まとめに一時間もかかりましたが、画用紙に写すのにそんなに時間はかからず、スムーズにできました。

そして、クラスみんなで出演する合唱も頑張りました。合唱コンクールで歌うのはキロロの「Friend」でした。

アルトのリーダーにも推薦されました。本当にうれしかったです。なんと言っても、私が言った意見にみんなが協力してくれたことが一番うれしかったです。それから、朝練や放課後も毎日練習しました。その頑張りのあつて、3位に選ばれました。

来年もこのメンバーで、色々な思い出を作りたいと思えました。

M さん (4 期生)

「日本」

私は日本に来てもう約 8 年たちます。私は日本人みたいに暮らしています。日本の文化や日本の生活にもう慣れました。日本の文化って言われたら謝る文化な感じがします。

最近学んだのが間違えたらすぐに謝ることです。バイトで学びました。私は自分が悪かったなあと思ったら私はすなおに謝りますけど、お客様が間違えた場合も自分が謝らないとダメということも学びました。人との会話やお客様の話をちゃんと聞くことなどを学びました。私は日本以外の国では謝ることは教えてもらえないと思います。だから日本にいて本当によかったと思います。感謝の気持ちとか、お礼とか、謝ることはとくに日本人はよくしますので、世界からみて日本という国は尊敬されます。私が学んだことを他の国の人達にも伝えていきたいと思います。これからも日本の文化をもっと学ぼうと思います。

C さん (4 期生)

「クリスマス」

クリスマスのはなには何をしますか。日本とフィリピンは文化がぜんぜんちがいます。日本でクリスマスはあまり大切な日ではありません。日本でいつもクリスマスケーキとケンタッキーフライドチキンを食べます。

フィリピンでクリスマスはとても大切な日です。12月16日から子どもたちは家の外でクリスマスの歌を歌います。家の人はお金がおかしをあげます。16日の夜からクリスマスのためのミサがはじまります。そのミサは24日までです。16日から24日までのミサに参加する人は願い事をします。

クリスマスとき、クリスマスのデコレーションもすごくきれいです。みんな、家の外はクリスマスのデコレーションをかざります。クリスマスライトもあります。すごくカラフルです。ときどき、花火もあります。そして、家族と食べます。すごいにぎやかです。だから、フィリピンのクリスマスのほうが楽しいと思います。でも、どこでも家族といっしょにクリスマスをいわうことが一番楽しいです。

E さん (4 期生)

「高校での体育大会」

学校の大きなイベントといえば、文化祭と体育大会です。文化祭では、一年生が高校生になったばかりのため、お店を出せないため、高校での初めての文化祭はあんまり楽しくなかったです。しかし、体育大会はとても盛り上がり、とても楽しかったです。

私たちの体育大会は大学の運動場でやります。私たちのクラス対決の競技は、全員でおおなわを跳ぶことです。跳んだ数の多い順から1位、2位を決めることです。私たちの人数は32人で、2人のまわす人を除いて、30人でおおなわを跳ぶのはとても難しかったです。初めてみんなでおおなわを跳ぶときは、いつも1回で止ってしまいます。いつもいつも2回目にはいけなかったです。体育大会まであと一週間するとき、みんなもやる気が出て、みんな放課後に学校に残って、みんなでおおなわを練習しました。体育大会の当日、みんな大きな声を出して、みんな必死に跳んでたことで、クラスの対決は一年生で2位で

した。他のきょうぎもみんな一生懸命走って、一生懸命応援してたおかげで、私たちのクラスは総合 2 位でした。

高校の体育大会は中学校より激しく、より盛り上がって、とても楽しかったです。

定住外国人子ども奨学金 イベント報告

定住外国人子ども奨学金では、収益を奨学金に充てることや PR を目的として、奨学生とともに様々なイベントに参加しています。ここではその活動についてご報告します。

小林聖心女子学院クリスマスバザー

2011 年 12 月 20 日（火）、小林聖心女子学院で開催されたクリスマスバザーに参加しました。私たち、定住外国人子ども奨学金事務局では、メンバー 8 人で水餃子とゆず茶の販売を行いました。本格的な冬の到来を迎える中、野外での販売でしたが、子どもの元気で楽しそうな姿を見ていると寒さも忘れられました。

当日は、9 時過ぎの店舗設営でスタートしました。店舗は長机を並べて、レジと水餃子の調理場を作りました。また、店舗の前には奨学金事業の活動を紹介するパネルや募金箱の設置、T シャツ販売やコンサートの告知も行いました。終業式等を終えた子どもが自由に校内を回りだした 11 時 30 分ごろから販売を開始しました。

店舗の運営は、レジ 2 名・調理 4 名・お客の呼び込み 2 名で役割分担をしておこないました。販売開始直後はお客さんもまばらでしたが、徐々に増えていき、常に行列ができるほどになりました。そして、最終的には無事に完売することができました。水餃子は温かいスープに入っていたので、寒い中で人気が出たようです。水餃子のお客さんが増えた後は、呼び込みをしていた 2 名はゆず茶の出張販売を行いました。出張販売は、ゆずジャム入りの紙コップをのせたトレイと、お湯の入ったやかんを持ち歩き販売に回りました。ゆず茶は、バザーの店員の方や保護者の方に人気で、こちらも水餃子に続き完売することができました。忙しい仕事や子どもさんの面倒をみる合間に、ホッと一息ついてもらえたのではないかと思います。ゆず茶の出張販売中に、水餃子の出前を頼まれることもあったので、とても人気があったようです。販売と片付けを終えた後には、隣のグループからカレーライスの差し入れがありました。無事に活動を終えたことに感謝しながら、みんなで美味しくいただきました。今回も充実の活動になったと思います。

クリスマスバザーでは、募金を呼び掛ける学生の姿も見られました。目的は違いますが、誰かのために頑張る学生の姿を見て、私たちも元気とやる気をもらうことができました。今後も様々な活動を行って奨学金の活動を広報するとともに、継続的な支援を展開するために活動していければと感じました。

最後になりましたが、クリスマスバザーへの参加にあたり協力して下さったみなさま、本当にありがとうございました。
(神戸学院大学 K.O.)

今年度も引き続き、募金箱設置にご協力いただきありがとうございます！

(順不同、2012 年 1 月 22 日現在)

FMわいわい、(財)神戸国際協力交流センター、神戸映画資料館、ほっとすてーしょん、神戸合同法律事務所、神戸市教職員組合、神戸市教育会館、兵庫県学校厚生会神戸支部、広東料理悠苑、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、(株)浜屋、尼崎市国際交流協会、南あわじ市国際交流協会、高砂市国際交流協会、タンカフェ、ひめじ発世界、神戸 YWCA、ベトナム料理メコン、インド料理チャルテ・チャルテ、南インドカフェダイニング チャルテチャルテ、マルヨネ 4 番館、チャオサイゴン、龍谷大学ボランティアセンター、ブラジリアーノ、民団西宮支部、焼き肉みなみ、韓国商工会議所、サンサイゴン、TIFFIN、NPO 法人フォロ、佐用町商工会議所青年部、元祖とんかつカレーカツヤ

今後も引き続き、募金箱設置をお願いいただける団体・店舗を募集しております！

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

～今後の予定～

2012 年 2 月 5 日(日) 第 3 回 KOBE カンタービレ・コンサート～とおくからきた なかまとともに～チャリティ
於 神戸市立地域人材支援センター(旧二葉小学校)

2012 年 3 月 1 日(木)～3 月 31 日(土) 第5期奨学生募集

2012 年 4 月 8 日(日) 奨学生面接

2012 年 4 月 11 日(水) 奨学生発表

2012 年 4 月 22 日(日) 奨学生オリエンテーション&交流会

第 3 回 KOBE カンタービレ・コンサート～とおくからきた なかまとともに～チャリティ

2 月 5 日に開催する今回のコンサートは、クラシックの曲から、クラシックにあまりなじみのない方でもお楽しみ頂けるような日本の懐かしのメドレー、ルパン 3 世のテーマ、宮崎駿メドレーなどで構成されております。オーボエなど珍しい楽器の紹介や体験等、子どもがいらっしゃる方にもお楽しみ頂けるコンサートですので、ぜひお越しください!



奨学資金の寄付を受付中です

通信欄に「定住外国人子ども奨学金」とご明記の上、
郵便振替口座 00990-4-18945 神戸定住外国人支援センター
までお願いいたします。

問い合わせ先 定住外国人子ども奨学金実行委員会
〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502
NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) 気付
TEL078-612-2402 FAX078-612-3052
E-mail kfc@social-b.net Web <http://www.social-b.net/kfc/scholarship/>

